

2012年 夏のトピックス

いよいよ夏本番！この夏、環境に配慮した生活を理解するためのトピックスを紹介します。

節電

今夏、北海道電力、関西電力、四国電力、九州管内を中心に、電力不足が懸念され、家庭や事業者に節電を要請しています。北陸電力管内の節電目標は-4%です。特に、電力需要の高まる日中（13～16時）の電力の「ピークカット」が必要です。

家庭での対策としては、

- ① **カット**（消費電力を減らす…ムダな家電を使わない、省エネモードにする、待機電力を減らす）
- ② **シフト**（日中の家電使用を、他の時間にずらす）
- ③ **チェンジ**（省エネ型製品へ替える、電気機器を他のエネルギーの機器に替える）

などの方法があります。

* 政府の節電ポータルサイト「節電.go.jp.」

<http://setsuden.go.jp/>

* 資源エネルギー庁

<http://www.enecho.meti.go.jp/>

スーパークールビズ

環境省は、これまでの「COOLBIZ」をさらに進化させた、「SUPER COOLBIZ」を推進しています。

節電の必要性が高まるなか、従来からの「28℃の室温設定」「ノー上着の奨励」「断熱材の利用」に加え、「更なる軽装の奨励」「勤務時間の朝型シフト」などを勧めています。かりゆし（沖縄の伝統服）、ポロシャツもオフィスの軽装として注目されているほか、大型店舗の早朝開店も始まっています。

期間は、6月から9月末まで。

<https://www.challenge25.go.jp/practice/coolbiz/coolbiz2012/>

SUPER COOLBIZ

クールシェア

夏の暑い日、家の電気の半分以上をエアコンが使っています。家のエアコンを止め、涼しい場所を



みんなで「シェアする」（分け合う）ことを勧めています。公園や図書館等の公共施設、地元のお店に集まる。自然が多くて涼しい場所に行く… 商業施設や銭湯では「涼み所」を設置してサービスを行うところも。

「さようなら原発10万人集会」

2012年7月16日、ノーベル賞作家 大江健三郎さんらの呼びかけによって、東京・代々木公園に、脱原発を求める人々、17万人が集まりました。音楽家坂本龍一さんは「電気のために子どもの未来を危険にさらすべきではない」と述べました。

エネルギーと環境の 国民的議論とパブリックコメント

政府は、東日本大震災・原発事故を受けて、エネルギー・環境政策を白紙から見直すことを決め、2030年の原発依存度をもとに、3つの選択肢（シナリオ）を用意し、国民的議論を開始しました。

- ① ゼロシナリオ（原発依存度をゼロにし、高水準の再生可能エネルギー、省エネ、ガスシフト）
- ② 15 シナリオ（原発依存度を15%程度）
- ③ 20～25 シナリオ（原子力発電の新設、更新）

<http://www.sentakushi.go.jp/>

この3つのシナリオについて、みなさんの意見、「パブリックコメント」を送ってみませんか。

【WEBでは、】

「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する御意見の募集（パブリックコメント）から、

<https://form.cao.go.jp/aec/opinion-0027.html>

【Fax,郵送の場合】事務局に電話して専用紙をとりよせる。03-5521-8356 または金沢エコネットに連絡してください 締め切り 8月12日

金沢エコネット <http://kanazawa-econet.main.jp/>